



P R E S S R E L E A S E

山口支店をリニューアルオープン

2024年11月14日

- 国内販売拠点の改装・新設によってお客様に高品質なサービスを提供し、従業員の労働環境を改善する「ミライ」プロジェクトの一環
- 山口県内の中核拠点をリニューアルオープン
- 整備工場などの新築および既存棟の改修により、整備能力を向上

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、山口県の販売・サービス拠点である山口支店(山口市)をリニューアルし、2024年11月11日(月曜日)より営業を開始しました。

このたびのリニューアルは、国内販売拠点の施設の改良・新設によって、より高品質なサービスの提供と従業員の労働環境のさらなる改善を目指す「ミライ」プロジェクトの一環です。

山口支店の所在する山口市は、県中央部に位置し、主要道路・高速道路へのアクセスが良い県内交通の要衝です。県内では下関市に次ぐ人口を有し、運送・卸売の流通業が数多く展開しています。山口支店は同市と美祢市をカバーするほか、MFTBCの宇部、萩、下関の各サービスセンターを統括する、県内の中核拠点です。

このたびのリニューアルでは、老朽設備の更新に加え、従来は別棟であった事務所と部品庫を同一の建屋として新築することで、業務効率や部門間連携のさらなる強化を図ります。部品庫は県内のサービスセンターへのハブ機能を担うことから、機能的な入出庫が可能な規模・レイアウトを採用しました。

整備工場については、メイン工場を整備ストールサイズを大幅に拡大して新築し、残る整備工場の全面リニューアルとあわせて、多様なリフトと最新の整備機器を組み込み、作業効率を大幅に改善しました。

新築工場は2レーンのリフトを対面式の配置とし、2台同時に整備した場合でも車両を出し入れできるように工夫するとともに、通過方式の4柱リフトを2基採用し、連結状態のままトレーラーの車検整備を可能とするなど、コンパクトかつ機能的なレイアウトとしました。改修した旧工場は主に一般整備を担い、1柱リフト3基を更新するとともに、作業効率が高い2分割フロアリフトを導入して機能強化を図りました。さらに、将来的な女性メカニックの採用を見据え、女性スタッフ用更衣室にシャワールームを設置しました。

また、お客様待合室を男女別とするとともに、快適にお過ごしいただくため、温かみのある内装を採用しました。

MFTBCは今後も「ミライ」プロジェクトを通じて、販売・サービス拠点のサービス向上ならびに従業員の労働環境の整備に努めてまいります。

■山口支店の概要

所在地	山口県山口市小郡長谷1-8-12
電話番号	083-974-1210(営業)、083-974-1300(整備)
営業時間	9:00 - 18:00
定休日	日曜日・祝日、第2土曜日(整備)
整備設備	13レーン 15ストール(整備大型8、中小型2、塗装1、板金3、検査場1)



山口支店の外観

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートトラック社が89.29%、三菱グループ各社が10.71%の株式を保有しています。90年以上の歴史を持つFUSOブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパープレート」に国内商用車初のSAEレベル2相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

「ミライ」プロジェクトについて

「ミライ」プロジェクトは、お客様への高品質なサービスの提供と、従業員の働く環境のさらなる改善を目的に、国内販売拠点の刷新を進めるプロジェクトです。2019年の開始後、2023年までに全国15拠点の移転・改築を行い、今後もさらなる活動を計画・実行しています。